

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立越谷総合技術高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「社会に貢献する産業人材を育成する」という部分に、学校として目指す方向が明確に示されている。学校に寄せられる期待・ニーズ・現状などが適切に把握され、専門学科の趣旨や特性を踏まえた適切な学校像が設定されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえ、中期的な視点から、課題などを更に検討・整理して、一層のレベルアップに向けて具体的かつチャレンジングな目標とすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて今年度新規で分掌・学年・学科のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。分掌・学年・学科間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の目標に基づいて、分掌・学年・学科が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。方策や評価指標がやや抽象的であるので、評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定し、教職員間でその達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が目指す学校像を踏まえた学校経営に着実に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、6学科設置の専門高校の利点を生かし、教職員の協働性を高め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	様々なアンケートを実施し、学校自己評価のための情報が多角的に収集されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			